

トップ > キヤノンマーケティングジャパン株式会社 CSR活動 > 事業を通じた社会課題解決 (Business with CSR) > 産業用3Dプリンター「ProX300」で東京理科大学の「トライボロジーセンター」の運営を支援

産業用3Dプリンター「ProX300」で東京理科大学の「トライボロジーセンター」の運営を支援

キヤノンMJグループは、2015年4月に東京理科大学葛飾キャンパス内に産学連携イノベーション拠点として開設された「トライボロジーセンター」に設備のひとつとして、金属粉末をレーザーで焼結する産業用メタル3Dプリンター「ProX300」（米国3D Systems社製）を納入しました。トライボロジーセンターは、経済産業省が推進する「平成25年度地域オープンイノベーション促進事業」の採択を受けて実現するもので、納入した3Dプリンターをはじめとする機器は地元企業に開放され、中小企業の航空宇宙業界への事業参入を支援するプロジェクトを展開します。キヤノンMJグループは、産業用3Dプリンター納入後の技術サポートとフィールドサービスを展開することにより、同センターの運営を支援していきます。



産業用3Dプリンター「ProX300」と造形サンプル

詳細は「ユーザーインタビュー 東京理科大学 トライボロジーセンター」をご覧ください。



関連ページ

- ▶ トライボロジーセンターの概要と産業3Dプリンターのページへ
- ▶ トライボロジーセンタープロジェクトの概要とユーザーインタビューのページへ

CSR情報

- ▶ キヤノンMJグループのCSR活動ページへ

お問い合わせ

- ▶ キヤノンMJグループのCSRに関するお問い合わせはこちら

▶ これまでの取り組み一覧へ

▶ Business with CSR トップへ